

交通事故に関するアンケートの集計結果について

(2013 年度集計)

2014 年 11 月 10 日

建設廃棄物協同組合

収集運搬委員会

収集運搬委員会では交通事故に関するアンケート調査を 2014 年 7 月に実施しました。

(調査期間 2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)

その結果は次のとおりです。収集運搬委員会ではこの調査を毎年実施し、各組合員で交通事故の削減を図るべく安全運転に努めてください。

1. 車両種類

今年度の交通事故の総数は 54 件発生しました。(昨年より 6 件減少)

車両種類別ではダンプ車の 23 件が最も多く次いでコンテナ車の 19 件となります。

2. 年齢別

年齢別では 40 代の 17 件が最も多く、次いで 30 代の 15 件の順となっており、中年層に事故が多いのが特徴的でした。

3. 経験年数

経験年数では各車両 5 年以下の経験者が最も多く、次いで経験年数が 10 年以下と若年経験での事故が多く散見されるのが特徴的となっております。

4. 事故の種類

事故の種類では接触事故の 26 件が最も多く、次いで追突事故(逆突も含む)の 20 件となり全体の 85%を占めます。

5. 事故の形態

事故の形態では物損事故が 46 件と最も多く次に人身+物損の 8 件でした。

6. 総評

本調査を昨年も実施しましたが傾向性に変化が見られませんでした。

年齢別では 30 代、40 代、経験年数では 5 年以下の事故が圧倒的に多いです。

これは自動車運転の経験はあるものの、中途採用等により中年層からトラックを乗り始める運転手に顕著に現れていますので、重点的に安全教育を実施してください。

また、事故原因として車間距離不足、脇見、前方不注意、安全確認不足の事故が多く、その他後退時の事故も総体的に多いので重点的に安全教育を実施してください。

昨年より交通事故は若干減少しているものの人身事故も少なからず発生しており小さな事故が積み重なり大事故に発展する恐れがありますので各組合員では引き続き安全教育を徹底され事故削減に努めてください。

2013年度交通事故集計表

車両種類	①ダンプ	23
	②コンテナ	19
	③ユニック	9
	④その他	3

年齢	－29	12
	30－39	15
	40－49	17
	50－59	10
	60－	0

		ダンプ	コンテナ	ユニック	その他
経験年数	－5	18	7	4	1
	6－10	6	6	1	
	11－15	1	2	2	1
	16－20	1	2	1	
	21－25	1			
	26－30				
	30－				

時間帯	①6:00～	3
	②8:00～	6
	③10:00～	9
	④12:00～	10
	⑤14:00～	10
	⑥16:00～	9
	⑦18:00～	1
	⑧20:00～	2
	⑨22:00～	4

曜日	月	5
	火	6
	水	10
	木	12
	金	7
	土	12
	日	2

事故の種類	追突	20
	接触	26
	積荷物の落下	0
	自損事故	6
	巻き込み	2

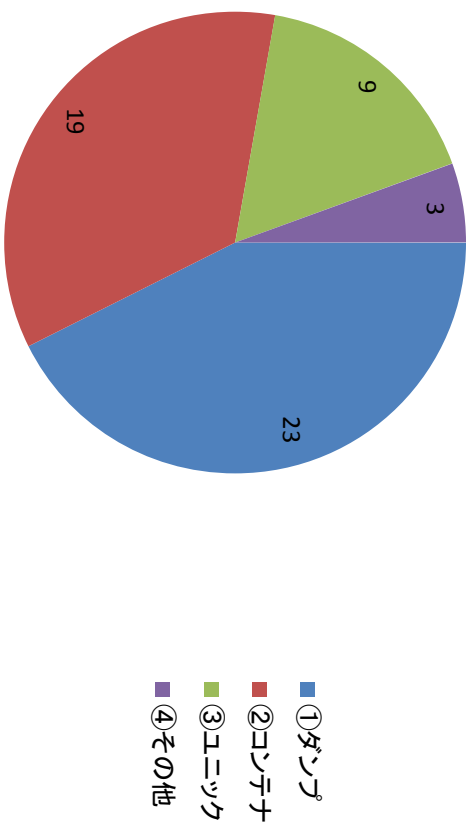
天候	晴れ	37
	曇り	13
	雨	3
	雪	1

全54件

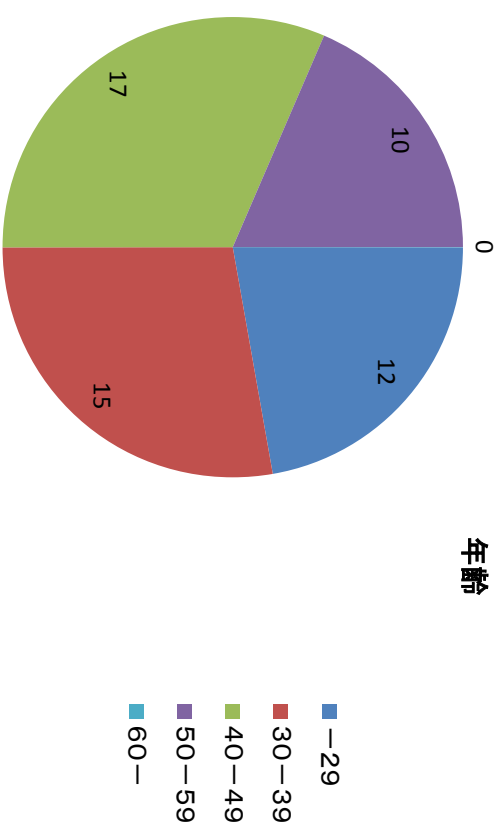
事故の形態	人身	0
	物損	46
	人身、物損	8

2013年度交通事故発生グラフ

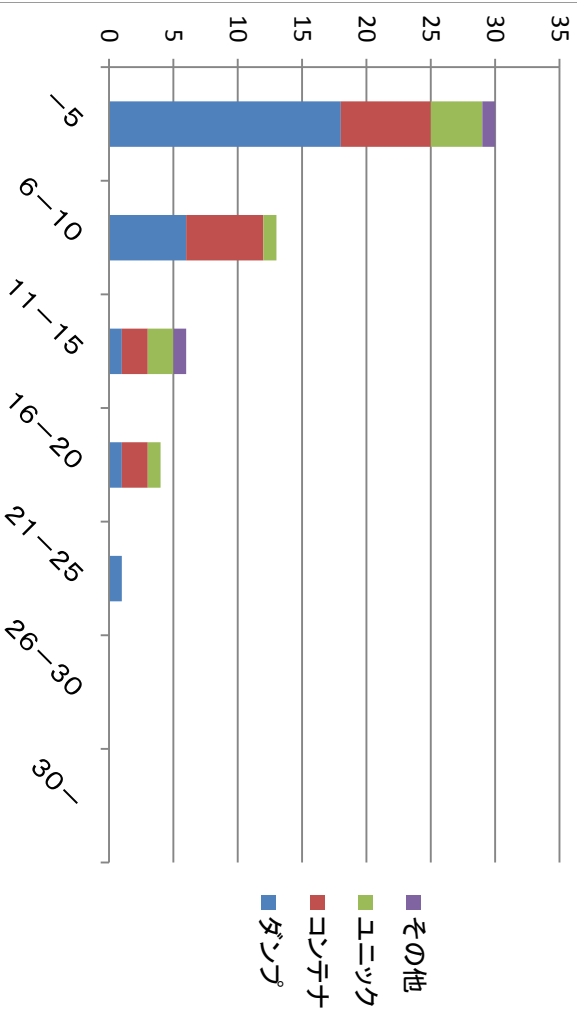
車両種類



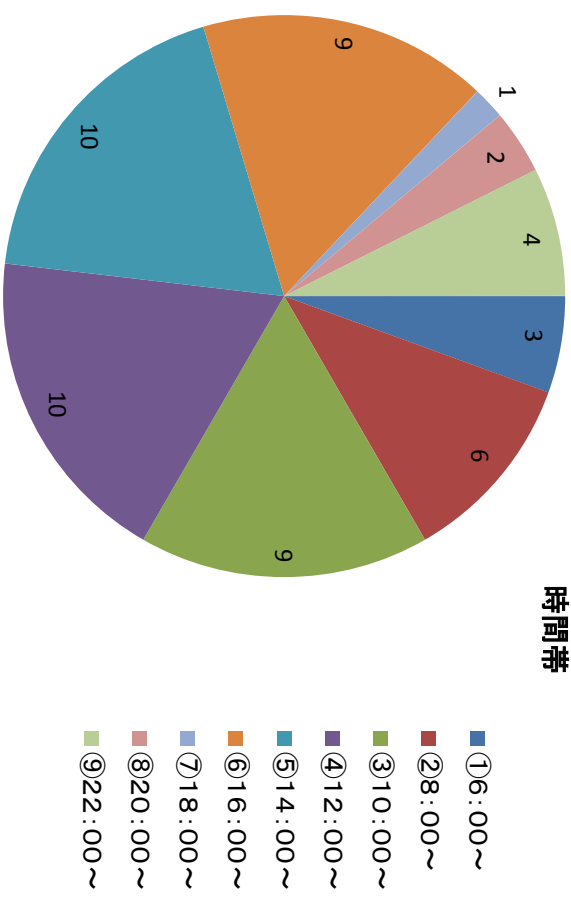
年齢



経験年数

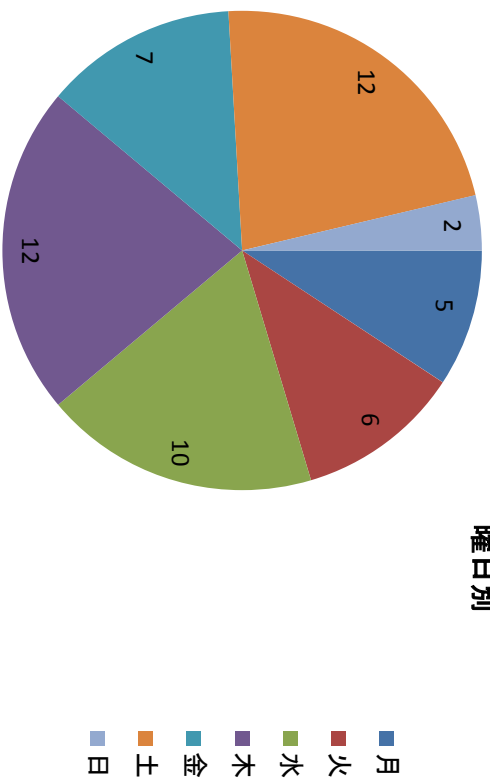


時間帯

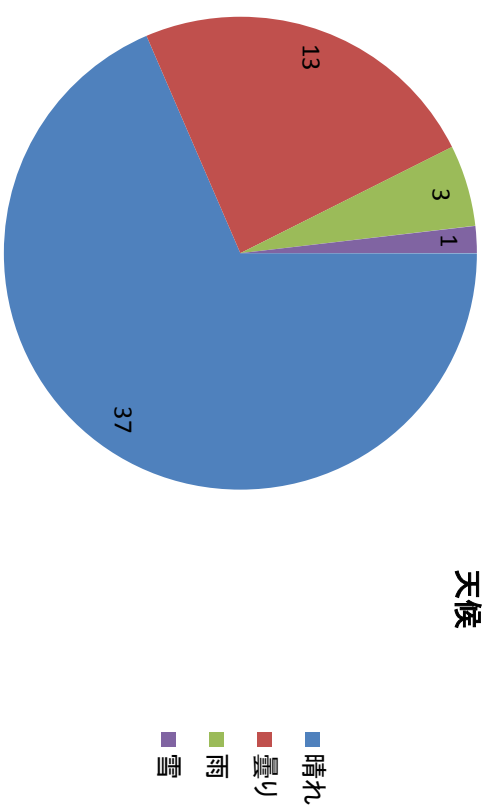


2013年度交通事故発生グラフ

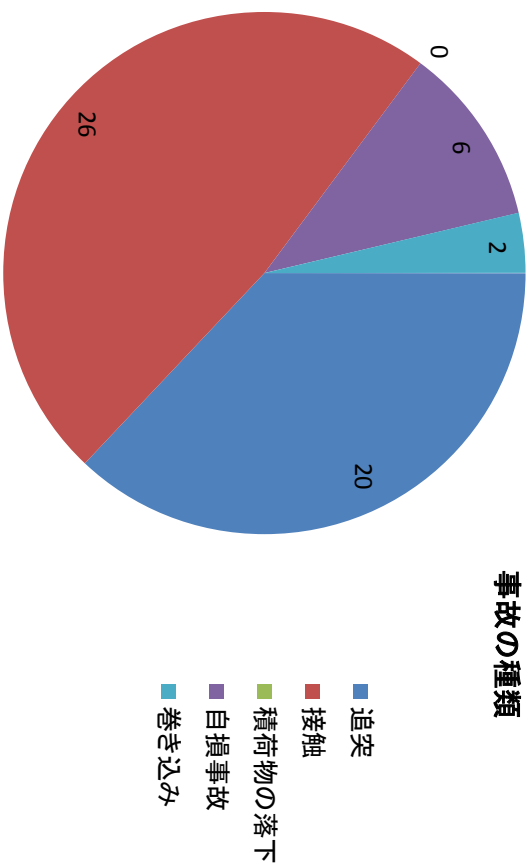
曜日別



天候



事故の種類



事故の形態

